



2025年 今年もよろしく

おねがいします

新しい年がスタートしました。みなさんは年末年始をどんなふうにすごしましたか？
新たな気持ちで新年を迎え、新学年に向けてさらに飛躍できるといいですね。

今年も、東原小学校図書館はみなさんがたくさん本を読みたくなるようなイベントをたくさん企画していきますので、楽しみにしてください。



今月はへびが出てくる本を紹介しよう



『たのきゅう』

おさわ ただし 小沢 正文 画
おおた たいはち 太田 大八 画



教育画劇

たのきゅうという芝居の役者が、ふるさとの村へ帰る道中、うわばみ(大きなへび)に出くわしました。侍 やむすめを演じてみせ、なんとかその場をおさめましたが…。

『道成寺 大蛇になった乙女』

かたやま きよし 片山 清司 文
しらいし あきひろ 白石 皓大 絵



BL 出版

和歌山県にある道成寺の釣りがね鐘にまつわる悲恋の伝説を仕立てた能の舞台を絵本にしたものです。僧に対する純粋な恋心が、やがて娘を大蛇の姿に化かしていったのです。

『やまたのおろち』

ふなざき よしひこ 舟崎 克彦 文
あかば すえきち 赤羽 末吉 絵



あかね書房

スサノオノミコトは、乱暴なあまり、国を追われて出雲の国にたどりつきます。そこで、くしなだひめがヤマタノオロチのいけにえにされようとするところに遭遇したのです。

『獣の奏者1 闘蛇編』

けもの そうじゃ とうだへん 獣の奏者1 闘蛇編
うえはし なほこ 上橋 菜穂子 作
たけもと いとえ 武本 系会 絵



講談社

けっして人に馴れない、また馴らしてはいけない獣「闘蛇」とともに生きる運命を背負った少女エリンの壮大な物語です。

ことし せつぶん がつふつか
今年の節分は 2月2日です

で ほん
こんなにあるよ！おにが出てくる本



クレヨンハウス

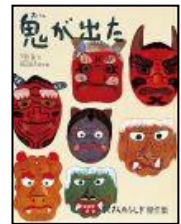
らくご かわばた まこと
『落語絵本・おにのめん』川端 誠 作, 絵

ほうこう しゅじん はたら
奉公(主人の家に住みこみで働くこと)に行って
お母さんと離れ離れのお春。お母さんにそっくりのお
面を大事にしていたがいたずらをされて、鬼
のお面にすりかえられしまい…。

おに
『鬼が出た』

おおにし ひろし かじやま としお
大西 廣 文 梶山 俊夫ほか 絵

おに
鬼といえば、こわいもの、悪いものの代表のように
いわれていますが、その本当の姿は案外知られて
いません。古い図像を手がかりに鬼本来の姿を
さぐっていく「鬼の百科」。



福音館書店

『すみ鬼にげた』

いわき のりえ まつむら こうじ
岩城 範枝 作 松村 公嗣 絵

とうしょうだいじ こんどう おに
唐招提寺の金堂を四人の「すみ鬼」が見守っている
のだが、そのうち一人の顔だけが違っているという。
それはなぜか？



福音館書店

ゆめ
『夢の守り人』

うえはしな ほこ ふたき まきこ
上橋菜穂子 作 二木 真希子 絵

人の世界とは別の世界で花をつけ、実をむすぶ
その<花>は、人の夢を必要としていた。
いとしい者を助けるため、逆に花によって魂を
奪われ、人鬼と化したタンダは…。



偕成社